

料金プラン

一括買取 (税別)

灌水制御システム ※1

灌水制御機器 348,000円 / 1式 (灌水GW+灌水制御盤) ※1,2
(弊社指定電磁弁 (CKD社製) は別売 約25,000円/台)
 クラウド利用料 1,000円 / 月 ※3

土壤水分センサシステム ※4

センサGW 100,000円 / 台 ※1
 土壤水分センサ 100,000円 / 台 ※4
 クラウド利用料 1,000円 / 月 ※3

※1 GW=ゲートウェイ
 ※2 灌水制御システム1式で電磁弁4台 (=4ポート) まで制御可能です。
 ※3 クラウド利用料 (3G通信費含む) は 灌水GW、センサGW1台ごとに発生致します。
(クラウド利用料は現在無料サービス中です。)
 ※4 土壤水分センサのご利用にはセンサGWが必要ですが、センサGWから半径100m以内であれば、センサGW1台で複数台のセンサが利用可能です。

よくあるお問い合わせ

液肥混入器に対応していますか？

液肥混入器の駆動方式及び混入方式等により、別途機器の取付または工事が必要な場合がありますので、弊社までお問い合わせください。

どんな工事が必要ですか？

土壤水分センサシステムは電源コンセントのみ、灌水制御システムは電源コンセント、電磁弁の取付及び配線工事のみでご利用可能です。圃場環境によっては、別途電源工事及び水源ポンプ関連の工事が必要となります。

センサと灌水システムは連動していますか？

灌水システムと土壤水分センサシステムは連動しておらず、生産者さまによる灌水予約の入力操作が必要ですが、2つのシステムは同一画面上での閲覧及び操作が可能です。

灌水システムだけで利用できますか？

灌水システムのみ、土壤水分センサシステムのみといずれも単独でのご利用が可能です。

国や自治体の補助金は使えますか？

ご利用可能な補助金、助成金がありますので、詳細については農水省及び自治体のHP等にてご確認ください。

通信費 (GWのインターネット接続費) は別途かかりますか？

通信費は「クラウド利用料」に含まれております。

露地栽培でも利用できますか？

いずれの機器も露地でご利用可能ですが、電源、灌水設備等が必要になります。ソーラー電源には対応しておりません。

製品仕様

灌水ゲートウェイ

外形寸法	236mm(W)×160mm(D)×120mm(H)	消費電力	15W
質量	1180(g)	使用温度範囲	0℃～50℃
通信	3Gデータ通信モジュール	防水規格	IPX3 (防雨型)
電源電圧	DC5V(AC100V/230V,50/60Hz・DC5VAC)		

灌水制御盤

外形寸法	315mm(W)×384mm(D)×167mm(H)	消費電力	15W
質量	3580(g)	使用温度範囲	0℃～50℃
電源電圧	AC100V又はAC200V	防水規格	IPX3 (防雨型)
出力	DC24V 電圧出力 (4系統)		

センサゲートウェイ

外形寸法	236mm(W)×160mm(D)×120mm(H)	消費電力	15W
質量	1180(g)	使用温度範囲	0℃～50℃
通信	3Gデータ通信モジュール	防水規格	IPX3 (防雨型)
電源電圧	DC5V(AC100V/230V,50/60Hz・DC5VAC)		

土壤水分センサ

外形寸法	285mm(H)×66mm(W)×53mm(D)	電源	単三アルカリ電池2本
質量	232(g)	使用温度範囲	0℃～50℃
通信	IEEE 802.15.4g(920MHz)		
通信距離	見通し距離100m※1		
	※1 通信距離は目安です。		

取扱店

株式会社SenSprout (センスプラウト)

〒105-0014 東京都港区芝2丁目16-7 KTTビル2階
 TEL: 03-6453-8667 Mail: info@sensprout.com

SENSPROUT <https://sensprout.com/>



製品紹介動画



ハウス土耕栽培の生産者さまへ！ 月々5,000円～

灌水制御システム

いつでもどこからでも、スマホから水やり

省力化 = 人材の有効活用

土壤水分センサー

ワイヤレスだからどこにでも設置、移動も簡単

質・量の向上



効率化できる作業は機械に任せることで作物収量の拡大等人にしかできない付加価値の高い作業に労力と時間を費やすことができます。

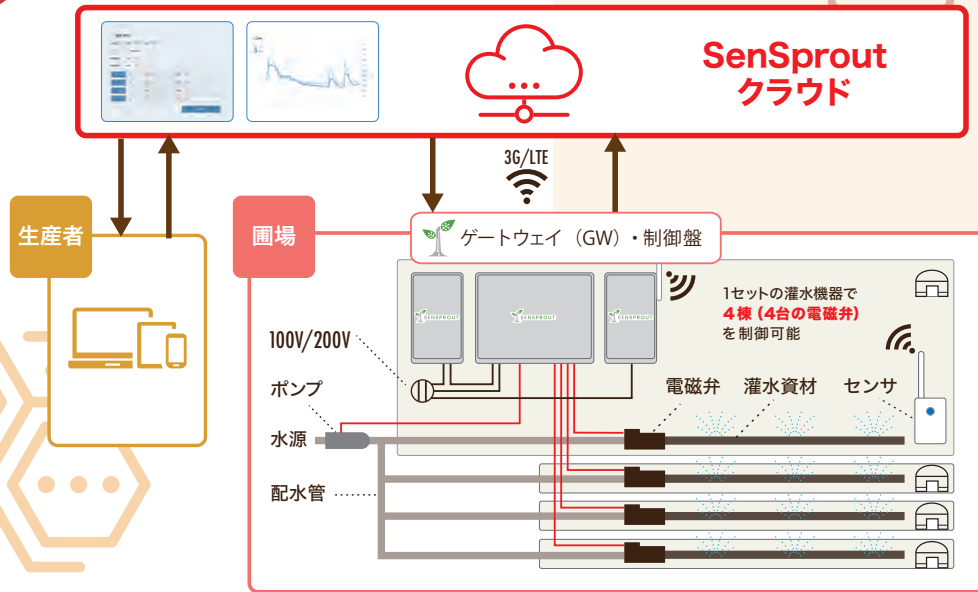
テクノロジーの力で生産者さまの能力を最大限に活かすお手伝いを致します。



きめ細やかな水分管理が作物の品質及び収量の安定、向上に繋がります。作物の品質及び収量の持続的な安定、向上に成功している生産者さまは、季節、天候等に応じて灌水量を調節し、作物ごとに最適なタイミングで灌水を実施しています。

システム構成図

既存設備が利用可能。大規模な工事なしで導入できます。



どんな作物でも利用可能

果菜類、葉菜類、果樹、花きと幅広く使われており、作物の種類による制限は基本的にございません。ハウス土耕栽培での導入事例が多く効果的です。



主な利用実績

大規模生産法人、個人農家、研究施設で作物の種類問わず幅広くご利用頂いています。



ベビーリーフ生産量日本一・果実堂

熊本・果実堂さまでは数十棟のハウスで「灌水制御システム」「土壌水分センサー」をご利用頂いております。省力化を進めると共に、14回転/年の生産を実現。また弊社の灌水・センサシステムの開発にご協力頂いております。

JA福岡大城 アスパラガス部会

部会員様にご利用頂いています。また部会内での普及推進のため、部会にて紹介動画まで作成して頂きました。Youtubeでご覧頂けます。



YouTube



灌水制御システム

省力化だけではなく、遠隔操作だからこそできる適時適量の水やり

「いつでもどこからでも」の安心感



インターネットに接続しWeb操作できる端末であれば、いつでもどこからでも灌水予約が可能。灌水作業の省力化は勿論、急な天候変化や外出掛け等でも水分管理が手中にある安心感が違います。

きめ細やかな水分管理



従来のタイマーシステムでは、日々刻々と変化する状況に柔軟に対応できません。本システムでは、作物が必要とする水分を適切なタイミングできめ細かく水やりをすることが可能です。

1日10回などの「少量多頻度灌水」も実現できます。

データ活用で継続改善



作物の品質・収量の向上には、栽培データの継続的な活用及び分析が必須です。灌水履歴はWebで閲覧できるだけでなく、過去データをCSVファイル形式でダウンロード可能です。

かんたん設置!
かんたん設定!
かんたん操作!



土壌水分センサー

ワイヤレスだから設置も移動も簡単! どこにでも設置可能

どこにでも設置、ワイヤスタイプ

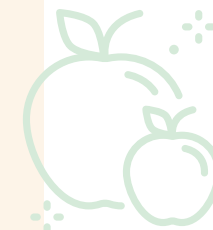
アルカリ単3電池で動くため、配線を気にせず設置できます。センサGWの通信範囲であれば、計測したい場所に自由に設置、移動できます。撤去し忘れによる破損や、ケーブル切断を心配がありません。

計測部品(プローブ)が交換可能

計測部分の部品(プローブ)と本体部分が分離可能なため劣化・消耗・破損しやすいプローブのみを交換できます。本体全てを買い換える必要なく、消耗品のみで交換でより長い間、ご利用いただけます。

詳細仕様

計測方法	静電容量方式
計測項目	体積含水率(%)、地表面温度(°C)
計測間隔	1時間に1回
計測データ	Webからの閲覧 CSVでダウンロードも可能
通信距離	ゲートウェイから半径約100m (障害物の有無等で通信距離は異なります)



※別途センサゲートウェイ(親機)が必要です
※親機1台で複数台のセンサがご利用可能です